

就職内定報告



2017



「好き」を「強み」に、強みを「仕事」にする。



文化学園大学・短期大学部

造形学部 デザイン・造形学科

ジュエリー・メタルワークコース4年
(現：ジュエリー・メタルデザインコース)

栗田 実憧 くりた・みと

東京都立高島高等学校 出身

内定企業

株式会社柏圭

事業内容：ダイヤモンド輸入卸業およびダイヤモンドジュエリーの製造・卸・小売業



BUNKAに入学した理由

高校2年生まで、進路をデザイン系か理系かで悩んでいました。一旦は理系に決めたのですが、3年生のとき友人に誘われたBUNKAのオープンキャンパスでデザイン・造形学科の作品を見て、やはりデザインを勉強したいと強く思いました。そのとき見た先輩たちの作品の雰囲気や、基礎からデザインを学べることに魅力を感じ、BUNKAに入学を決めました。

将来の仕事と大学の授業

高校のときは美術の先生になりたいと思っていました。入学後、美術の教職課程を履修してはいましたが、デザイナーとして社会経験をしてから教員になるのもあるのかな、と考えるように。さまざまなデザインの勉強の中でも、2年生のときに履修した「ジュエリー・メタルデザイン基礎実習」が面白かったこと、ジュエリーの制作やその専門知識を学ぶのはここでしかできないと考えて、3年生からはジュエリー・メタルワークコース※に進みました。ジュエリーは、作品が自分で身に付けられる身近なものとい

うところも魅力です。ジュエリーを専門に学ぶようになると、もっと制作に力を注ぎたい、将来ジュエリー業界で働きたい、と強く思い、卒業後は制作に携わる仕事に就きたいと考えるようになりました。

※現：ジュエリー・メタルデザインコース

就職活動について

3年生のときに参加したインターンシップでは、宝石やパーツを扱う会社とジュエリー販売会社の2社にお世話になり、どちらの経験もその後の糧になりました。

3年生の3月になると、企業が開催する説明会も多くなります。行きたい説明会を書き出し、優先順位をつけてから手帳に書き込むなどしてスケジュールを管理しました。内定をいただいた(株)柏圭では入社後の適性でデザイナーとしての登用があること、また社風や説明会・面接での雰囲気が自分に合っていると感じたことが決め手でした。就職活動にあたって焦りは禁物です。私はメリハリのある生活と健康管理をきちんと行うこと、そして、たまには友人と遊んで気分転換をすることが基本でした。それらが就職活動をスムーズにしたと、実感しています。

卒業制作

「飾 - 蛇華扇融 -」

扇一つの世界に見立て、神格化した露の臺を中心に様々な植物が動物へと進化していく過程を、独自の世界観で表現しました。



タッセルは取り外すとイヤリングに、要(かなめ)の部分の装飾は指輪に。ジュエリーであることにこだわった点です。